第16回

ひろしま「山の日」県民の集いの記録

山と海は、つながっている。

２０１７年６月３日（土）・６月４日（日）　開催

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会/中国新聞社/中国放送

はじめに

広島は里山の邦と言ってもいいでしょう。広島の里山は、里、川、まち、そして海ともつながり、多くの恵みをもたらし、命をはぐくんでいます。

人と里山、人と山、里とまち、企業と地域・・大崎上島町をメイン会場に広島県内 13 の市町 14 会場を結んで、第 16 回ひろしま「山の日」県民の集いを開催いたしました。

これは、その記録です。

●第 16 回ひろしま「山の日」県民の集い　「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ 7 割は山です。全国に誇る里山があります。
山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。
山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。
広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ、
魚や貝を育んでいます。

私たちは、6 月の第一日曜日をひろしま「山の日」とし
ひろしま「山の日」県民の集いを県内各地で開催し
山の大切さを訴えています。
ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を拡げ、
山がよくなる運動にしていくことを宣言します。

2017 年 6 月 4 日
ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
会長　伊藤利彦

目　次

1　事業のアウトライン……3

2　各会場の記録

① 大崎上島町会場：大崎上島文化センター……4

② 東広島市会場：東広島市憩いの森公園……11

③ 廿日市市会場：県立もみのき森林公園……17

④ 広島市会場：広島市森林公園……19

⑤ 広島市会場：広島県緑化センター……23

⑥ 三原市会場：県立中央森林公園……25

⑦ 福山市会場：ふくやまふれ愛ランド……27

⑧ 三次市会場：酒屋地区憩いの森……28

⑨ 呉市会場：野呂山（野呂山高原ロッジ周辺）……30

⑩ 北広島町八幡高原会場：八幡高原……31

⑪ 安芸高田市会場：鷹ノ巣山……32

⑫ 安芸太田町会場：恐羅漢エコロジーキャンプ場……33

⑬ 大竹市会場：マロンの里交流館……34

⑭ 世羅町会場：せら夢公園……37

3　実行委員……39

4　ひろしま「山の日」県民の集いの歩み……41

事業のアウトライン

1　目的	森林ボランティアや民間が中心となり展開してきた、ひろしま「山の日」県民の集いも 16 回目となる。目標の一つとしてきた、「山の日」が平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日になった。将来、広島県内全 23 市町で展開できるように広島県など行政も加わった県民参加の森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的にする
2　日時	2017 年 6 月 4 日（日） 集いの行事 ※安芸高田市会場は 6/3、北広島市八幡会場は一部 6/3 に実施
3　場所	広島県内 13 市町 14 会場 大崎上島町会場（大崎上島文化センター周辺及び神峰山） 東広島市会場（東広島市憩いの森公園）、廿日市市会場（県立もみのき森林公園）、広島市会場（広島市森林公園、広島県緑化センター）、三原市会場（県立中央森林公園）、福山市会場（ふくやまふれ愛ランド）、三次市会場（酒屋地区憩いの森）、呉市会場（野呂山）、北広島町八幡高原会場（芸北地区八幡高原）、安芸高田市会場（鷹ノ巣山）、安芸太田町会場（恐羅漢エコロジーキャンプ場）、大竹市会場（マロンの里交流館）、世羅町会場（せら夢公園）
4　総参加者	10，862人 （山の手入れ等参加者 686 人）
5　主催	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
6　特別協力	ひろしまの森林づくりフォーラム
7　後援	林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、広島市、呉市、福山市、三原市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、世羅町、大崎上島町、（公社）国土緑化推進機構、（公社）広島県みどり推進機構、（一社）広島県森林協会、広島県森林組合連合会、ひろしま緑づくりインフォメーションセンター、（一社）広島県山岳連盟、（公社）日本山岳会広島支部、（一財）全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
8　協賛	西条・山と水の環境機構、㈱ウッドワン、山陽乳業㈱、JA グループ広島、㈱タカキベーカリー、大和重工㈱、中国木材㈱、㈱中電工、マツダ㈱、広島県協同組合連絡協議会、広島信用金庫、広島県信用組合、広島県森林組合連合会、㈱エディオン、尾道商工会議所、神沢精工㈱、クニヒロ（株）、光和物産㈱、山陽工業㈱、東広島商工会議所、広島商工会議所、広島市漁業協同組合、㈱広島バスセンター、福山商工会議所、みずえ緑地㈱、㈱有斐園、NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所
9　助成	ひろしまの森づくり事業（交付金事業） 「緑の募金」助成事業

大崎上島町会場　大崎上島文化センター

全体

■参加人数：１，６００人

＜プログラムの状況＞

ひろしま「山の日」県民の集いも今年で 16 回目となる中、初めて離島である大崎上島町がメイン会場となり、大崎上島文化センター周辺及び町のシンボルである神峰山をメイン会場として開催しました。

過疎地の離島での開催ということから、島内外の多くの方に参加いただけるように、メイン会場の隣にある県立海星高校の文化祭やマラニック等と共催することにより、多くの方が各会場を周遊し大変賑わいました。

▲神峰山（かんのみねやま）から瀬戸内海を望む

▲会場の様子

開会式（オープニングセレモニー）

■参加人数：２００人

＜プログラムの状況＞

今回初めて、今井　敏林野庁長官が『ひろしま「山の日」県民の集い』に出席された。約 200 人が参加した大崎上島町の開会式で、広島の「山の日」のこれまでの取り組みに対して感謝の言葉と共に「山の恩恵を再認識して欲しい」と呼びかけられました。

この声に「こだま」をするように、大崎上島町の 2 つの幼稚園の全園児 16 人がオープニングイベントとして、おおきなうたのメロディーに乗せて、園児たちが描いた山の絵をバックに歌を歌い、続いて「山の大切さを理解し行動する人の輪を広げます」と「ひろしま山の日」宣言を行いました。

司会進行は（一社）広島県観光連盟から『ひろしま、宝島レディース』の 2 人が行い、天気と同じく明るく晴れやかに司会をされました。

▲今井　敏林野庁長官　祝辞

▲「大崎幼稚園」「木江幼稚園」の園児 16 人による
ひろしま「山の日」宣言

▲司会のひろしま、宝島レディースのお二人

記念植樹

■参加人数：５０人

＜プログラムの状況＞

神峰山ウォークに参加された中の希望者 50 名により、神峰山山腹の林道わきで桜の苗木を植樹した。苗木に名前などを書いた短冊を括りつけ、山の日の記念として、皆さん今後の成長を楽しみにしている様子でした。

神峰山ウォーク

■参加人数：６０人

＜プログラムの状況＞

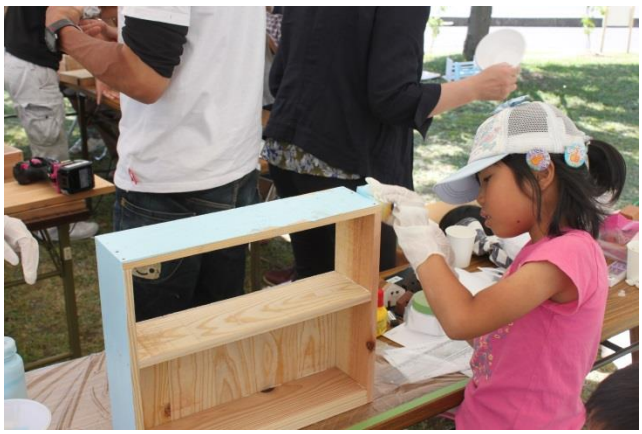
メイン会場である大崎上島文化センターから、神峰山の山頂まで歩くウォークイベントを開催しました。島の行事や特産品をモチーフにしたスタンプを使ったスタンプラリーや、道中約 70 体あるお地蔵様の赤いよだれかけを「C（カープマーク）」で彩るカープ応援イベント等、道中にも楽しい仕掛けを散りばめた。山頂では島の果実を使ったスカッシュやアイスキャンデーの販売、キューバ音楽の演奏、ホテル清風館のバーテン田村氏による、神峰山や島の神話をモチーフにしたノンアルコールカクテルを提供する「Bar115」を開設し、多くの方で賑わいました。

木工教室

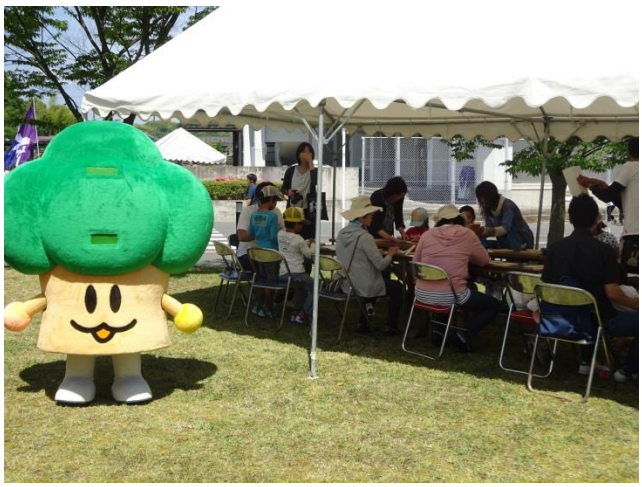
■参加人数：２５人

＜プログラムの状況＞

講師の指導により、木工キットを使用して、小物棚を組み立てた。インパクトドライバーを使用して、木材に穴をあける作業や釘を打つ作業は、子どもたちにとっては初めての経験で、付添いの大人たちに手伝ってもらいながらも、自分たちで組み立てを行いました。



▲木工教室の様子



竹細工つくり

■参加人数：１３２人

＜プログラムの状況＞

天候が良く親子連れがたくさん参加してくれました。竹トンボや風車など、最近ではなかなか触れる機会の少なくなった、昔ながらのおもちゃに子ども達も興味津々でした。作成中はなかなか上手くいかない所もあったが、インストラクターのサポートもあり、子ども達全員が無事完成させることができました。子どもたちは、自分で作った竹トンボや風車で大喜びで遊んでいました。その他にも、竹でつくるカゴや花器などもあり、大人の方もたくさん参加され、家のインテリア用にと熱心に取り組んでいました。

▲竹でつくるカゴ作り

▲風車のつくり方を熱心に聞いている子どもたち

「山の日」コンサート
映画上映会

■参加人数：２５０人

＜プログラムの状況＞

大崎上島文化センター「ホール神峰」において、山の日コンサートを開催しました。1 部はオレンジコーラスによる、山にまつわる合唱を 2 曲合唱しました。2 部では、ギターの弾き語りコンサートを 5 曲歌唱し、3 部では島のカラオケの有志による、山にまつわるカラオケコンサートを 6 曲実施しました。
その後、映画「家族はつらいよ２」が上映され、作品中で大崎海星高校の校歌が歌われるということで、多くの卒業生が感慨深く鑑賞していました。

▲オレンジコーラス

▲ギターの弾き語りコンサート

山菜や筍による試食コーナー

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

商工会女性部により、柑橘の花であるネロリから抽出した「ネロリ茶」の試飲と地元で採れた筍をふんだんに使った炊き込みご飯を来場の皆さんに試食していただきました。ネロリ茶についてはなかなか飲む機会が少ないため、珍しさから飲まれた方が多く、ほのかな柑橘の香りに「おいしい、おいしい」と言いながら、多くの方がおかわりをされ大盛況でした。筍を使った炊き込みご飯についても、試食された方みなさんが、美味しいと言っていただき、用意した数がすぐになくなり、こちらも大盛況でした。

大崎上島町の特産品の展示・販売

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

ＦＦアイランド大崎会により、地元の特産品の展示・販売をした。地元の柑橘を使ったスムージーや、柑橘系ジャムやレモン蜜など多くの種類の特産品を販売しました。中でもイベント当日は晴天でかなりの暑さだったこともあり、スムージーがとても好評でした。また、来場された方も柑橘を使った特産品の多さに驚きながら、たくさん購入されていました。

▲柑橘を使った特産品の数々

ウッドチッパー機運転

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

大崎上島町の森づくり事業推進協議会が所有しているウッドチッパー機を使い、デモ運転を行い、竹チップ材による２次利用方法などを説明し、皆さんに興味を持ってもらえる良い機会となりました。

▲ウッドチッパー機のデモ運転

健康増進コーナー

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

血圧測定や選んだ１食分の料理絵カードの塩分チェック等も合わせて行いました。日々の食生活の振り返りになり、来場者に高血圧予防等に関するアドバイスを行いました。また手軽につくれるだしの見本等も展示し、若い子育て中の方に、これなら家ですぐに作れそうと好評でした。

▲高血圧予防等に関するアドバイスの様子

森づくり普及コーナー

■参加人数　多数

＜プログラムの状況＞

大崎上島文化センター２階ホールにおいて、ひろしまの森づくり推進事業についてパネル展示やチラシを配布しました。当日はモーリーも一緒に広報活動を行い、ひろしまの森づくり推進事業の理解を深める良い機会となりました。

県立大崎海星高校文化際

■参加人数：４６０人

＜プログラムの状況＞

会場隣の県立大崎海星高校では文化祭があり、太鼓の演奏、ソーラン踊りや、コンサートなどいろいろな催し物があり、ひろしま「山の日」県民の集いの会場と周遊することで相乗効果となり、大変盛り上がっていました。出店の販売も多くが早くから完売し大盛況でした。

▲太鼓の演奏

▲県立大崎海星高校文化祭の様子

大崎上島ウルトラマラニック

■参加人数：２５０人

＜プログラムの状況＞

早朝５時～10時スタートや島を一周するコースなど、いろいろなスタート時間やコースがあり、順位やタイムを重視せず、海や野山などの景色を楽しんだり、途中で食事をとったりしながら走るイベントで、スタート・ゴールがメイン会場と同じ大崎上島文化センターであり、多くの声援を受け気持ち良い汗を流されていました。

▲ウルトラマラニックの様子

閉会式

■参加人数　１００人

＜プログラムの状況＞

閉会式では、広島大学大学院特任教授の中越信和氏に講評をいただき、全てのイベントについて大変良い評価を頂きました。また閉会式後、もちと本町の特産のしいたけを配布し、大きなしいたけに皆さん大興奮されていました。

終日晴天に恵まれ、全てのイベントについて盛況のなか、第１６回ひろしま「山の日」県民の集いを閉会しました。島での「山の日」ということで、少し戸惑いもあったが、海と山とはつながっている、島でのメイン会場開催が新たなひろしま「山の日」県民の集いの１ページになってくれたらと思いました。

▲広島大学大学院特任教授の中越信和氏の講評

▲もちと本町の特産のしいたけの配布

記録者：大崎上島町会場実行委員会事務局

東広島市会場　東広島市憩いの森公園

全体

■参加人数：５００人

＜プログラム状況＞

6 月 4 日（日）今回 16 回目を迎えた“ひろしま「山の日」県民の集いは、メイン会場を初の島開催、大崎上島町の神峰山とし、県内 13 市町 14 会場で開催されました。

東広島市会場は、第 1 回のメイン会場として連続 16 回目の開催となりました。梅雨入り直前の憩いの森公園多目的広場はカラッと快晴のなか、東広島市内の小学生、中学校の生徒会、高校生、大学の留学生、企業やボランティア団体などのグループや個人・家族連れ、また、広島市内の建設会社もホームページ等で催しを知り遠方からはるばる来場さるなど、多彩な参加者が源流の山「龍王山」の中腹にある森林公園に集いました。

▲開会挨拶　島　靖英　実行委員長

▲祝辞　谷　英彦　広島県東広島農林事務所長（左）

▲祝辞　前藤英文　東広島市産業部長（右）

▲東広島みどりの少年団による山の日宣言

山の手入れには賀茂地方森林組合の職員や、西条・山と水の環境機構に所属する酒造会社の社員などの指導により、小・中・高校生グループや企業や行政の団体・家族が参加して水源の山「龍王山」中腹の湧水「龍王の名水」付近の荒れた森林を整備しました。県・市からのご来賓やオブザーバーも率先して山に入られました。また、会場となった憩いの森公園で活動したり利用している様々なグループが提供するプログラムにより、地元の東広島みどりの少年団の団員と、地元の市民・家族が初心者向けの登山教室で龍王山山頂まで登ったり、森や芝生広場といった自然の中で、野鳥観察やネイチャーゲームを楽しんだ。開会式を行った多目的広場では、丸太切りや木工教室、ハーブ石けんづくり、手作りパズルといった木や植物に親しむプログラムで楽しむ体験や、ペレットストーブの実演展示や農業高校緑地土木科の活動展示といった森林・林業と関わり深い取り組みについて知る機会を提供できました。

記録者：船本昌義（実行委員会　事務局長）

▲安全祈願　石井一行(山陽鶴酒造/西条・山と水の環境機構)

山のグラウンドワーク

■参加人数：１３１人

<プログラム状況>

今回の「山のグラウンドワーク」は「常緑の森」で約 2,000 ㎡を約 130 人が里山の手入れを行いました。前回の続きということで作業道から少し上ったエリアのため、伐採した材は運び出さず、棚積みとし残った樹木の養分とすることとしました。森に日差しが入り地中の微生物が活発に活動すれば枯葉などの有機物の分解が進み、より良い土壌となり保水力のある元気な森になることが望めると思います。一方、作業道下側の班の除伐材はこれまで通りチッパーシュレッダーで材をチップに加工し、また業務で鉄道敷を手入れしているＪＲ西日本西条駅班は他の班から離れ“龍王山の中腹から湧き出す「龍王の名水」”付近で刈払機を使った作業を行いました。

記録者：船本昌義（実行委員会事務局）

▲除伐作業①オリエンテーション：「常緑の森」にて指導責任者の松浦さん（賀茂地方森林組合）から安全な除伐作業と伐採した材の棚積みについて、それぞれの説明を受ける。

▲②伐採作業：各班長指導のもと、伐採作業を実施（枯れ木・日照不足による生育不良木・二股など健全な森づくりの妨げとなる樹木やツルの除去、枝打ちなど暗い森に日の光が射すように手入れを行う。）

▲ＪＲ西条駅刈払機作業班

普段から線路沿いの整備を行っているJR西条駅班は刈払機持参で他班とは離れた場所で、安全に配慮しながら手入れ作業を行いました。（「龍王の名水」）

▲材のチップ化：除伐した材を運び出し、チッパーシュレッダーでの破砕（堆肥になります）

▲作業を終え、下山後の笑顔いっぱいの記念写真

初心者のための登山教室

■参加人数：２８人

<プログラム状況>

快晴の下、ストレッチを済ませ１０時過ぎ、龍王山山頂を目指して出発、途中ゴミ等を拾いながら登りました。１０時４５分頂上下の広場にある東屋にて『日帰り山登りの基本』ワンポイントレッスンで、山登りの楽しさ・面白さ等の話をする。その後、頂上で記念写真を撮り、眼下に広がる展望を楽しんだ後、別ルートにて途中野イチゴを摘んだりしながら下山しました。子供達は元気で、付き添いのスタッフ方が登りは少々バテ気味でした。ストレッチ後、１２時過ぎ事故なく、無事に解散しました。

▲登山の様子

▲龍王山「山頂展望台」にて集合写真

記録者：森　茂樹（公社　日本山岳会広島支部）

森のネイチャーゲーム

■参加人数：１４人

<プログラム状況>

みどりの少年団の４年生 10 人を相手に、ネイチャーゲームを楽しみました。アクティビティは「わらしべ長者」と「めざせ名探偵」「森の美術館」の３つです。「わらしべ長者」では道を歩きながら自分のお気に入りを交換して歩きます。1 本の草が，最後に綺麗な小さな花や面白い形の石、松ぼっくりなどに変わりました。「めざせ名探偵」ではヒントから広場の中の 1 本の木を見つけます。子ども達の機動力を観察力はすごい。難しいと思ったのですが、すぐに見つけられてしまいました。ここでゲームを離れて芝の斜面をごろごろ転がる遊びに興じ、エネルギーを発散しました。最後に「森の美術館」で自分のお気に入りの景色を切り取りました。午後は野鳥と自然を親しむ会の観察会に同行しました。

▲「めざせ名探偵」

▲「森の美術館」

記録者：淺野敏久/写真撮影：新谷潤子
（呉・東広島シェアリングネイチャーの会）

野鳥観察会
「森の野鳥を探そう！」

■参加人数：３４人

<プログラム状況>

探鳥会実施日の前日に、当会会員４人が会場準備を行った後、下見を行い留鳥のコゲラ、ホオジロ、ヒヨドリの姿を見、ウグイスの声を聴きました。

探鳥会当日には午前中はみどりの少年団、午後は一般参加者と会場北側の森の中の散策路を歩きました。午前中に小型のキツツキのコゲラを見ました。動きが素早かったため団員達には確認しにくかったようです。また、ホオジロ、ヒヨドリ、ウグイスの声を聴きました。

森の鳥たちを育んでいる、植物についても親しみを増そうと、危険な植物の説明後、サルトリイバラのトゲを触って痛さを感じ、クロモジの葉をもんで良い匂いを嗅ぎ、シラカシの幹に聴診器を当て吸い上げる水の音を聴き命の息吹を感じてもらいました。午後も同様の内容で実施し、参加者に楽しんでいただきました。

▲指導員の説明に興味津々の参加者

▲コゲラ

記録者：濱田　嘉之（東広島の野鳥と自然に親しむ会）

丸太切り体験
森の木工教室

■参加人数：午前６１人

<プログラム状況>

昨年は、生憎の悪天候で、「山のグランドワーク」は中止となりましたが、今回は晴天に恵まれ、「山のグランドワーク」「丸太切り体験」「木工教室」を開催できました。気持ちの良い汗をかいての除伐作業、日常あまり使うことのない鋸を使っての丸太切り、釘や金槌を使っての巣箱づくりなど、貴重な体験ができたことと思います。里地・里山作りを将来に渡って継承する事、自然環境保全作りに関心を持って頂ければと思います。

▲丸太切り体験

▲木工教室で本立てをつくる

記録者：松浦　尚樹（賀茂地方森林組合）

手作りパズル体験
「パズルで遊ぼう！君に解けるかな!!」

■参加人数：３６人

<プログラム状況>

今年は体験時間が少なくて済むような６つの「パズル」１．カーパーキングパズル　２．王様パズル（熊さんを救出せよ）　３．五円玉パズル　４．輪抜けなパズル　５．ボールソリテアパズル　６．元気に疾走する馬パズル　に挑戦してもらいました。大人の皆さんも参加して頭の体操になったのではないでしょうか。五円玉パズル挑戦では、いろいろ動かしているうちに解けたそうです。子どもたちもあきらめることなく、どう動かしたらいいのかなと考えていました。「元気に疾走する馬パズル」ではパズルの黒（馬の格好）にとらわれず、下敷きの白い紙シートに馬の形を作ることに気が付いたり、「王様パズル」では「出来たよ」と早い時間に解けたりする子どももいました。「カーパーキングパズル」では少しヒントをあげると、自車を駐車場から出すことに成功していました。

▲いろんなパズルに挑戦

▲五円玉パズル

記録者：幾田奉文（日興苑遊歩会　副会長）

ハーブ石ケンづくりと ハーブティサービス

■参加人数：７０人

<プログラム状況>

雲一つない青空の下　会場へ向う人達の顔も輝いて見えた今年の山の日　私達のブースは例年通り”手ごね”せっけんづくりです。参加した緑の少年団の子供達も晴れやかな気持ちで精を出していました。指導員の方や一般の方にも自由参加して頂き、なごやかに時が過ぎました。

野草茶にも興味津々！いつもの野草茶以外に天候に合わせて初めて準備したレモングラスティが大評判！山での作業をした人達に準備したのですが時間の都合で参加なく残念でした。

午後は私達メンバーも”野鳥観察会”に参加させて頂いたり、ゆっくりお弁当を楽しんだり　とても良い一日でした。お世話になった皆様ありがとうございました。

▲ハーブ石鹸づくりを体験する親子

▲　いろいろなハーブティを楽しむ子供たち

記録者：高　見京（憩いの森ハーブ研究会）

半尾川の生き物展示

■参加人数：１０１人

<プログラム状況>

昨年に引き続き、龍王山を水源とする半尾川をテーマに生物の展示を行いました。今回はJR線より少し上流のあたりから黒瀬川合流点までの区間で採集された生き物13種（カエル2種、魚類4種、甲殻類2種、トンボのヤゴ3種、貝類2種）を飼育ケースに入れ、解説とともに展示しました。グラウンドワークを終えた参加者、親子連れ、地元にお住いの方など、たくさんの方にブースに来ていただきました。

▲熱心に展示を見ていただきました

記録者：中坪孝之
（ひがしひろしまモバイルミュージアム）

ペレットストーブの実演展示

<プログラム状況>

今回は、広島大学の学生さんたちが、都合により参加できなかったのもあり、いつもよりも参加者は少なかったように感じましたが、その中でも興味のある方たちに、ペレットストーブの良さを知っていただきました。

今年から、東広島市でも木質ペレットの製造が始まり、いよいよ本格的に稼働し始めました。木質燃料を使用した、暖房機器への補助金が本年度もあるので、もっと周知され利用者も増えてくれると良いと思います。木質ペレット燃料を使った、ペレット窯『ＰＧＹ－１６』のパネル展示も行い、地元のパン屋さんにも興味を持っていただきました。豊栄のトムミルクファーム様にも導入頂き、いろんなイベントなどで活躍しているようです。これからも、木質ペレットの普及に、微力ですが努めていくつもりです。　　記録者：山野井　重典（ヤマノイ株式会社）

▲ペレットストーブ

西条農業高校の展示

広島県立西条農業高校緑地土木科の紹介展示

全体

■参加人数：１，５００人

＜プログラム状況＞

素晴らしい青空の下､「第１６回ひろしま「山の日」県民の集いinはつかいち」が参加者１，５００名で開催しました。（公園利用者含む）

“安全な森を作ろう！”の合言葉で展開されたこの日のプログラムは、JRふれあいウォーク、森のネイチャーゲーム、親子でピザを楽しむ会、魚のつかみどり、森のクラフト教室、森のつみ木広場、薪割体験、ポニーと遊ぼう等９種のプログラムなどで盛りだくさんの内容でした。

１０時に開催された，開会式では、櫻井実行委員長の開会挨拶に続き、メインイベントの「山の日」宣言は、広島修道大学生の環境ボランティアを代表して住田崇徳さん山根愛菜さんの２名が力強く宣誓しました。締めくくりは阿品の森サポータークラブの武田佳子さんが作業時の注意点などを発し、安全祈願の「どんぐり！ころころ！」を力強く三唱して式典を終了しました。

“安全な森を作ろう！”の合言葉の森の手入れは、広島人と樹の会や広島修道大学の環境ボランティアが中心となり、一般参加者を含めて参加者総勢１１５名が、今年の春オープンした「フォレストアドベンチャー・広島」の杉林の班分けしてある森の中へ移動し森の手入れを実施しました。今回は、森の手入れの終了後に、空中版アスレチックの「フォレストアドベンチャー」を体験することができ、森林空間を利用する楽しさも味わうことができました。

森の手入れの会場とは、１ｋｍ離れたイベントブースでは，朝早くから準備してきたスタッフが商品や体験行事の材料を並べ、各種の体験行事を実施し好評を得ました。

記録者：梅田　斉（一般財団法人もみのき森林公園）

安全な森をつくろう！

▲森の手入れ　綺麗な森になって感心、感心

▲仕上げに低い位置から切ろう！

この日、もみのき森林公園で行なわれた森林の多様性に関する体験活動は、次のとおりです。

○	新緑のもみのき森林公園	参加者　１２人
○	森のネイチャーゲーム	参加者　４６人
○	クラフトづくりコーナー	参加者　２４人
○	親子でピザを楽しむ会	参加者　１７人
○	魚のつかみどり	参加者　７１人
○	ポニーと遊ぼう	参加者１０２人
○	森のつみ木広場	参加者　３５人
○	薪割体験	参加者　　多数

新緑のもみのき森林公園

■参加人数：１２人

森のネイチャーゲーム

■参加人数：４６人

クラフトづくりコーナー

■参加人数：２４人

親子でピザを楽しむ会

■参加人数：１７人

ポニーと遊ぼう

■参加人数：１０２人

薪割体験

■参加人数：多数

広島市会場　広島市森林公園

全体

■参加人数：４１２人

＜プログラム状況＞

当日は、梅雨前の晴天に恵まれ、森林でのイベントに最適の天気でした。

９時半に第二駐車場特設会場において、ひろしま遊学の森（広島市森林公園）副島靖夫園長の開会宣言と「もりメイト倶楽部 Hiroshima」の見勢井誠理事長によるひろしま「山の日」宣言を行い１日の盛況と無事故を祈って開始しました。イベントは、広島市シェアリングネイチャーの会のトレーナーによる「森のネイチャーゲーム」、公園主催の「スタンプラリー」、森林内を歩く「グリーンアドベンチャー」、藤ヶ丸山への遊歩道の整備を行う「トレイル＆クリーン作戦」を実施しました。

「ネイチャーゲーム」は、芝生広場の日陰を使っていろんなゲームをしていただきましたが、「ポイズンリムーバー」はいつもと少し違った鬼ごっこを大人も子どもも楽しんでいました。小さなお子さんも多く特に「フィールドパターン」は一所懸命自然の中でいろんな形を探していました。

「スタンプラリー」は芝生広場周辺のポイントを探してスタンプを押して景品のプレゼントをゲットされていました。

「グリーンアドベンチャー」では、延長２，１５０ｍ、標高差１５０ｍ、変化に富む園内のコース内にある１８問を専用の回答用紙を持って歩いて頂きました。また、今回はまた「6 月 4 日虫の日」に因んで、こんちゅう館から「虫の問題」を３問出題しました。

参加者には、当公園オリジナルの記念品、さらに成績優秀者（ただし子ども限定）には、別の景品をプレゼントしました。

また、「山の日」に相応しく「トレイル＆クリーン作戦」を実施しました。

初めてノコギリを持ったような子どもさんからベテランの高齢者までの参加者が遊歩道の支障木を一所懸命切って森林の手入れをしていただきました。

そして、スタッフの尽力と参加者の協力を得てすべてのイベントが滞りなく進み１５時半のイベント終了まで、広島市森林公園での１日を楽しく有意義に過ごして頂きました。

▲ひろしま遊学の森(広島市森林公園)　副島靖夫園長の挨拶

▲「もりメイト倶楽部 Hiroshima」見勢井　誠理事長による
ひろしま「山の日」宣言

記録者：桑田　荘一郎（広島市森林公園）

グリーンアドベンチャー

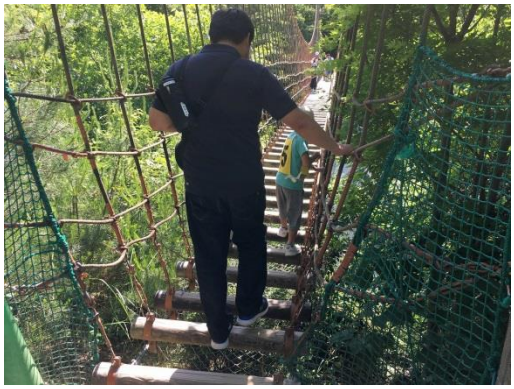
■参加人数：４６人

＜プログラム状況＞

本コースは「管理ボランティア　フォレストクラブ森守」が中心となって7年前に整備されたもので、森林公園内をクイズラリー方式でトレッキングできる常設コースです。延長２，１５０ｍ、標高差１５０ｍ、雑木林、人工林、モミジ植栽林、渓流園路、つり橋など変化に富む園内のコースに問題を１８問設置してあり、回答用紙を兼ねた探検地図も ver.8 を重ねるほどの当公園の人気定番イベントのひとつでもあります。

今回は「山の日」限定の一日だけのコース(芝生広場、こんちゅう館、デイキャンプ場を経由)を設定し、また「6 月 4 日虫の日」に因んで、こんちゅう館から「虫の問題」を３問出題しました。この日は心地よい青空の下で、参加者 17 組 46 人全員がゴールされました。参加者には、当公園オリジナルの記念品「押し花入りのしおり」を、さらに成績優秀者(ただし子ども限定)には、「昆虫缶バッチ」「バードコール」「竹のかぐや姫」などをプレゼントしています。

▲ゼッケンと地図を持って、さぁ森の中へ出発だ！



▲GAV 問題 16 は、スリル満点のつり橋を渡って ？

▲コースの中には、山あり！谷あり！遊具もあり？

▲無事ゴール！して、記念撮影中～お疲れ様です。

記録者：牟田口 努（広島市森林公園）

スタンプラリー

■参加人数：３０２人

＜プログラム状況＞

芝生広場周辺でスタンプラリーを実施しました。コースは１周２０分～３０分程で第２駐車場階段下を受付、ゴールとして、芝生広場、休憩所、こんちゅう館前、メルヘンの森に８か所の目印を設置し、その周辺に隠したスタンプを探して押していただきました。簡単に見つけられるものから難しいものまで、広い園内を探索しながら楽しくスタンプラリーをして頂き、全部押した方には景品として用意したおもちゃ、お菓子、飲料の中から好きなものを１つ選んでいただきました。天気も良く８０組３０２人の方に参加して頂きました。

▲お父さんと一緒にスタンプを探しました。

▲皆さん嬉しそうに景品を選んでいました。

記録者：古本　隼都（広島市森林公園）

森のネイチャーゲーム

■参加人数：３５人

＜プログラム状況＞

①「好きなもの集まり」は、季節や色でそれぞれ好きな所に集まり好きな理由を聞いていくうちに、これからどんな人たちと一緒にネイチャーゲームをするのか知るきっかけになりました。

②「ポイズンリムーバー」という鬼ごっこをしました。紙の棒を持った鬼役の人(ハチ)に刺されたらその場に座り、刺されていない二人が両手をつなぎ(ポイズンリムーバー)刺された人を囲み毒を吸い出してもらうと、復活できるという鬼ごっこで盛り上がりました。

③「フィールドパターン」は、自然の中にある様々な形や模様を探すゲームで○・☆・♡・△などを探しながら場所を移動してもらいました。家族で話し合いながら楽しそうに探していました。

④「感触の宝箱」は、自然にあるものとよく似た感触のものを触り、触ったものと似たような感触を自然の中で探す活動で、感触だけを頼りに真剣に探していました。

⑤最後に目をつむり周りから聞こえて来る音を静かに聞く「音いくつ」で終えました。一瞬静寂になり心地よかったようです。

活動後フィールドに落ちている小枝や葉、ドングリなどを色和紙に貼り壁かけを作り持って帰って頂きました。幼児や小学校低学年の子ども連れの家族が多く、ネイチャーゲーム体験が初めての人ばかりでした。しかし感性豊かな子ども達ばかりで自然の見方、気づきが素晴らしかったです。マツボックリを見る角度により形が違って見えたり、木の葉が揺れる音の違いなどに気付き自然の音は好きだが人の声などは嫌な音に聞こえたと言う子どももいました。保護者からはキャンプやまた森林公園に来た時にネイチャーゲームが活用できそうだと言われました。

▲「好きなもの集まり」

（春夏秋冬・青赤黄緑）どれが好き？

▲「ポイズンリムーバー」

ハチの針(紙製)に刺されても復活できるよ

▲「フィールドパターン」
自然のいろんな形を探そう

▲「感触の宝箱」
まず、袋の中の物をさわってみる

▲お土産の自然の壁かけづくり

記録者：森垣　夫査子
（広島市シェアリングネイチャーの会

藤ヶ丸トレイルウオーク＆クリーンアップ

■参加人数：１９人

＜プログラム状況＞

参加者１９名は、ヘルメット・ノコ・ナタなどを装着して森林公園の自然体験広場方面から藤ヶ丸頂上まで遊歩道の清掃ならびに樹木観察をしながら登山を行いました。登山者のマナーが良いのであろう、ごみはほとんど無かったです。

事前調査で目についた６６種類の樹木名を書いた資料を各自に配布し、随時樹木の解説をしながら１時間４０分かけて頂上に到着しました。昼食の後、１時間半程度の除伐作業を行いました。日陰を残しながら展望を良くしたり、風通しをよくしたりする作業のお蔭で４等三角点の頂上からは北部の可部方面や南部の広島湾の展望もよくなりました。帰途も樹木解説をしながら下りました。全員怪我もなくほぼ予定時間通りに帰着しました。参加者からは「内容が充実していた」「貴重な体験が出来た」「樹木について良い勉強が出来た」「自然の大切さ感じた」「また参加したい」などの発言もありました。

記録者：見勢井　誠
（ＮＰＯ法人もりメイト倶楽部 Hiroshima　顧問）

▲作業終了後の集合写真

全体

■参加人数：３０９人

＜プログラム状況＞

新緑かおる晴天の下、午前１０時、正本　大実行委員長の挨拶、地元福田町老年会（福寿会）児玉会長の来賓祝辞の後、「可部南グリーンズ緑の少年団」２９人による「山の日」宣言で開会しました。（来園者、約６００人）

開会式終了後、園内２箇所で山の手入れ（参加者５６人）を行いました。また、「山の日」協賛グランドゴルフ大会（参加者福寿会４０人）も盛大に、開催されました。

レストハウス前広場では「モーリースタンプラリー」、「森のネイチャーゲーム」、「森のノルディックウオーク」、「木工クラフト」「紙ヒコーキ飛ばし」、「丸太切り体験」と計６つの参加型プログラムを準備し、皆さん、それぞれにチャレンジされていました。（参加者２１３人）

記録者：行正　高成（広島県緑化センター）

▲開会式　正本　大　実行委員長あいさつ

間伐して森を守ろう

■参加人数：３９人

＜プログラム状況＞

今年も可部南グリーンズみどりの少年団の児童及び役員や父兄を含めて総勢３９人により、開会式終了後、「集いの広場」に移動して周辺の山林内で除伐作業を行いました。　最初に指導者（ふれあい湧会員）から作業上の注意点や手ノコの使い方等の説明の後、作業を開始しました。昨年も参加した児童もいて、みんな手際よく作業していました。

記録者：行正　高成（広島県緑化センター）

▲間伐作業

森の手入れ

■参加人数：１７人

＜プログラム状況＞

サクラの森周辺で三井ボランティアネットワークの人々や白木愛山会など１７人が、主として実生の小松不要木の除伐行いました。晴天の下、気持ち良い汗が流せたと参加者全員満足そうでした。

記録者：行正　高成（広島県緑化センター）

▲除伐作業

紙ヒコーキとばし

■参加人数：６８人

＜プログラム状況＞

芝生広場で実施しし、親子連れの多くの人々が参加してくれました。小学校以下のお子さんはアイス引換券が貰えて大喜び。お父さん、お母さんも童心に帰って一生懸命飛ばしていました。

記録者：行正　高成（広島県緑化センター）

丸太切り体験

■参加人数：１８人

＜プログラム状況＞

丸太切り用には、スギの木１本とヒノキの木１本を各々木の枕にカスガイで固定して待機しました。

低学年の参加者には指導者が最初に少しノコ目を入れてから切り始めてもらいました。子供が頑張る姿に両親も、指導者も声援を惜しまず、切り終わると子供は汗を拭きながら達成感で満足そうでした。

山の日協賛 グラウンドゴルフ大会

■参加人数：４０人

＜プログラム状況＞

グランドゴルフ大会は、福田地区の有志４０人で２ゲーム行なわれた。ゲーム終了後レストハウス前で１２時から、地元福田町老人会会長の児玉吾郎さんと「ひろしま山の日」広島県緑化センター会場実行委員長のみずえ緑地㈱正本　大社長を交えて盛大に表彰式が行われました。

▲グランドゴルフ大会表彰式

記録者：廣瀬　健（広島県緑化センター）

モーリー・スタンプラリー

■参加人数：４９人

＜プログラム状況＞

モーリースタンプ台をレストハウス登り口（アジサイ）、芝生広場（カルミア）、管理事務所前（さつき）の3カ所に設置しました。3カ所にはそれぞれ花が咲いていたのでスタンプラリーの参加者には充分楽しんでいただいたことと思います。スタンプを押して戻れば、花苗又は写真付きオリジナル葉書が、もらえるということで、多くの親子連れが挑戦していました。

記録者：行正　高成（広島県緑化センター）

記録者：行正　高成（広島県緑化センター）

三原市会場　県立中央森林公園

全体

■参加人数：１，８００人

＜プログラム状況＞

６月４日、中央森林公園センター前広場で第１６回ひろしま「山の日」県民の集い三原市会場が開催された。この日、メインの「里山の手入れ」と木の文化体験コーナーでは、「木工・グラフト体験コーナー」「丸太きり大会」「森のネイチャーゲーム」「里山の雑学講座」　「子ども体験コーナー」「ポニーと遊ぼう」「森のコンサート」「協賛グループの展示即売会」など８種類のプログラムを実施しました。

当会場の特色は地元関係者をはじめ企業グループの参加があったこと、「２０１７年ミスやっさ」の参加がありました。

開会挨拶を中央森林公園協会理事長小松光二郎が朝早くから「山の日」県民の集いに、たくさん参加していただきありがとうございます。ひろしま山の日県民の集いも、回を重ね　１６回目をむかえました。昨年は目標の１つとしてきた「山の日」が国民の祝日になりました。ひろしま山の日は「６月の第１日曜日は近くの里山へ」をスローガンに里山に入るきっかけをつくる運動を展開していきますので、皆様のご協力をお願いしますとの、あいさつで幕を開けました。祝辞は、三原市長天満祥典様にいただき代読を三原市経済部長 吉川　進様がされ、来賓紹介は出席いただいた尾道農林事業所長・三原市議会議長・賀茂森林組合代表理事組合長・一般財団法人中央森林公園協会理事長の紹介を行いました。

山の日宣言は三原市会場実行委員の三原市農林水産課林務係長が宣誓を行いました。

メインの「里山の手入れ」には 50 人の参加があり、4 班に分れて森林ボランティアの指導で里山の手入れに取り組みました。参加者はヘルメットを付けて、下草を刈ったり、除伐を行い、運び出し粉砕機でチップ化（堆肥）いたしました。約２時間の作業であったが０．３ ヘクタールの里山が明るい林に再生しました。

午後からは、福島実行委員長が今井林野庁長官を三原市会場に連れてこられ会場内を見ていただき、ご挨拶もしていただき会場が一段と盛りあがりました。また、森のコンサートや、各種プログラムの行事に一般参加者が加わり、お祭の雰囲気が最高に盛り上がり、多くの家族連れ（1800 人）で終日にぎわいました。また事故もなく無事山の日を終了することができました。

山や森の大切さを理解し行動する人の輪を拡げていくきっかけができた１日となりました。

記録者：藤田　義弘（三原市会場実行委員会事務局）

▲天満市長祝辞　三原市経済部長　吉川　進　代読

▲来賓者席

▲開会式式典

▲２０１５年ミスやっさ三原の PR

里山の手入れ

▲下草刈り除伐作業

▲砕機でチップ化（堆肥）

木工・クラフト体験コーナー

丸太切り大会

福山市会場　ふくやまふれ愛ランド

全体

■参加人数：３０人

＜プログラム状況＞

第16 回ひろしま「山の日」県民の集いを、6月 4 日（日）に例年通り《ふくやまふれ愛ランド（福山市赤坂町）》にて開催をしました。当日は、他のイベントも多数開催をしていたことも有り会場付近は大変な賑わいでした。

福山市会場での開催も 11 回目を迎えたこともあり、来場者も定着し山に対する意識も高く盛り上がりを見せています。山や森の大切さの理解を得て、県民の輪を広げる目的は達成出来たものと確信しています。

開会式では、開会挨拶に続いて、「開会宣言」と「山の日宣言」を地元の若者を代表して古屋　俊英様により大変力強い宣言をして頂きました。

続いて、内海　康仁実行委員長よりご挨拶を頂きました。挨拶の中で平成 29 年 8 月 11 日(祝日)の「山の日」についての報告と、例年 11 月に開催の「ふれ愛ランドまつり 2017」への参加依頼も有りました。同まつりは、2000 人以上を集客する大規模なイベントです。

「山のグランドワーク」への参加者は 30 名余りでした。広島県東部森林組合の方で、植樹箇所に目印をして頂いたことも有り非常に助かりました。植樹（ヤマアジサイ）及び樹木の手入れ等を実施しました。

最後に、ひろしま「山の日」県民の集いが盛会で充実した1日で終えることが出来たことは、参加者及び運営へご協力いただいた数多くの関係者の方によるもので有り大変感謝致します。

記録者：赤木　茂（福山市会場実行委員会事務局長）

▲内海康仁実行委員長あいさつ

山のグラウンドワーク

■参加人数：３０人

＜プログラム状況＞

開会式終了後は、ヘルメット、カマ及び手袋を各自に渡し、本日の作業内容・注意点等の説明をしました。その後、会場近くの山林内（D遊歩道沿い）に移動して植樹を実施しました。参加者は、30 名でした。

今年は、「ヤマアジサイ」を植樹しました。植樹場所に目印をしていたことにより植樹はスムーズに出来ました。来年の成長が大変楽しみです。

当日は、好天に恵まれ程よい汗をかくことが出来ました。

記録者：佐藤　元則（広島県東部森林組合）

▲植樹風景

三次市会場　酒屋地区憩いの森

全体

■参加人数：２５０人

＜プログラム状況＞

第16回ひろしま「山の日」県民の集い三次市会場は、6月4日（日）に酒屋いこいの森を会場として行いました。当日は，天候にも恵まれ，予定通り行うことができました。開会式では、酒河小学校児童2名が「山の日宣言」を力強く読み上げてくれました。

参加者はまず、森の手入れをするためのこぎりを手に森林内へ入りました。森林組合職員の指導により、切り倒す木の選び方や切り倒し方を学び、間伐作業を体験しました。のこぎりの使い方にぎこちなさもありましたが、普段経験できない作業を終えた参加者の表情は、達成感に満ち溢れていました。

「自然観察会」では、講師の坂田先生（県林業技術センター）の案内により，散策道を歩きながら，いこいの森に生息する植物の説明を興味深く聞いていました。

会場内のテントでは，「木工クラフト」を行い，木材を組み合わせてカブトムシの形を作ったりしました。 少し，難しそうでしたが，なかなかの力作が完成し，みんな満足そうでした。「カブトムシの幼虫探し」では，大きな幼虫やさなぎが土の中からたくさん出てきて、子どもたちはみんな大喜びでした。

災害時でも簡単に作れて使える「エコストーブ展示」では、実際にお湯を沸かし非常食用のごはんを加熱し，地元のJA女性部の方が作ったカレーをみんなでおいしくいただきました。

昨年に引続き，馬洗川自然塾による「木登り体験」では、木の上に設置されたツリーハウスへ特設の階段で登り、登った後はターザンロープで滑降し、ドキドキ感を味わいました。また，今年は，サテライト会場として，上田町のはしはら山のがっこうでも開催し，木製ミニカーを竹のコースで競わせる，「TAKE－1グランプリ」や広島さとやまシェアリングネイチャー協会による「ネイチャーゲーム」では自然の面白さを体験することができました。

山の日のイベントを通じて、参加者の皆様には山や自然について関心を深めていただいたものと思います。

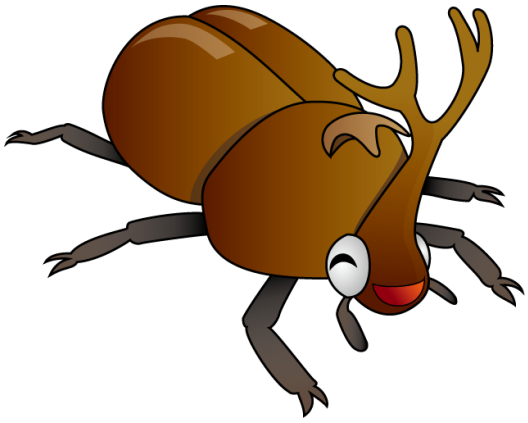
記録者：横山　大（三次市産業環境部農政課）

みんなで森の手入れ

自然観察会

ツリーハウスで木登り体験

カブトムシの幼虫さがし



木工クラフト

エコストーブの展示

呉市会場　野呂山（野呂高原ロッジ周辺）

全体

■参加人数：１８２人

＜プログラム状況＞

昨年より50名多い180名の方にご参加頂きました。各種イベントも爽やかな天候の下、滞りなく実施され、多くの方に山に関心をもってもらう事ができたと思います。

山の手入によりヒノキ林は健全な状態に保たれました。

ネイチャーゲーム、ハイキングは天候に恵まれ、瀬戸内海が一望できるフィールドで満足いただけたと思います。

丸太切りは多くの子供も参加、多少切るのに苦労しながらも達成感を味わっていただきました。切った丸太には、山の日の焼印を押し記念品としてもらいました。

記録者：橋本　彰光（中国木材株式会社）

山のグランドワーク

▲国有林檜の間伐・除伐　予定の面積はきれいに整備完了

伐採した木々をチッパーマシンにかけて粉砕作業を有志で夕刻まで行いました。

記録者：宮岡　泰久

（サポート・トレッキング・グループ会長）

森のネイチャーゲーム

▲多数の親子で賑わう！　講師一人では荷重？

記録者：宮岡　泰久

（サポート・トレッキング・グループ会長）

桧の丸太切り

▲例年より大きな丸太のため、事前に切り目を入れて時間短縮！子供たちは精いっぱい頑張った。輪切りの檜に「山の日」・「小重岩」の焼き印を押して子供たちに渡しました。

記録者：宮岡　泰久

（サポート・トレッキング・グループ会長）

北広島町八幡高原会場　八幡高原

記録者：河野　弥生（西中国山地自然史研究会）

全体

■参加人数：１０１人

＜プログラム状況＞

１日目は「整備の日」として、「霧ヶ谷湿原の整備」と「苅尾山の登山道整備」と 2 つのプログラムを準備しました。開催に先立ち、合同で開会式をしました。山の日宣言もされ、山に親しみ、感謝することが確認されました。みなさんは、早朝から意気込んで参加してくださり、受け入れをする私たちはとても頼もしく感じています。各プログラムに分かれ、ケガのないよう注意事項を再確認し、作業にとりかかります。

「霧ヶ谷湿原の整備」では、日本山岳会広島支部が中心となり、自然再生事業地である湿原の低木を伐採し、整備を進めました。鳥のヒナがいる巣がみつかったこともあり、整備の時期や方法などの課題も残りましたが、自然に触れ、自然を持続的に活用するためにはどうしたらいいのか、といった話題も交わされる場となりました。一方で、広島県山岳連盟が中心となった「苅尾山の登山道整備」では、2 班に分かれました。A 班は下から猿の木峠へ向け整備、ぬかるんだ 3 か所は水抜きや枯れ木を敷きました。B 班は猿の木峠から登山道を整備しながら下山。午後からは、千町原登山口に移動し一沢までの整備を行いました。青空のもと、爽やかな風が吹き、交流も楽しみながらのそれぞれの整備は 15 時に終了しました。

2 日目は「山に親しむ日」として、日本山岳会広島支部のみなさんが、2 つのプログラムを準備してくださいました。スタッフのみなさんが、準備をすすめてくださり、子供から大人まで楽しめるメニューでした。普段なかなか体験することができない、ツリークライミングと、大佐山登山は、どちらも指導者がいることで、参加者は安心して参加することができ、安全に実施することができました。それぞれのよさや楽しみを体いっぱいで感じることができたと思います。このように、ひろしま「山の日」宣言の中でもあるように、「ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を拡げ、山がよくなる運動にしていく」ことに近づいた 2 日間でした。物も美しい花を咲かせる。是非、多くの皆さんに夏の霧ヶ谷湿原を見に来て頂きたいと思っています。

▲霧ヶ谷湿原自然再生活動の様子

▲臥龍山（霧ヶ谷湿原登山口～猿の木峠）登山道整備の様子

▲ジュニア　ツリークライミング体験の様子

森林林業体験活動
里山林整備体験

■参加人数：４６人

＜プログラムの状況＞

安芸高田市会場は、ひろしま「山の日」の行事を６月３日（土）に計画しました。当日は、天候にも恵まれ、鷹ノ巣山の山頂で里山林整備体験を行いました。今年は、安芸北森林組合の岸本参事さんの指導で、チェンソー、手ノコ、鉈、草刈り機の安全な使い方を学び、チェンソーによる伐採見学や、全員で枝払いと玉切り草刈を行い、山頂を整備しました。おかげで、向原側の眺望も少し開け、ブナの老木も見えるようになり、山頂が一段と気持ちの良い空間になりました。

安芸太田町会場　恐羅漢エコロジーキャンプ場

全体

■参加人数：３００人

＜プログラムの状況＞

第１６回ひろしま「山の日」県民の集い『森カフェ in あきおおた』は昨年に引き続き恐羅漢エコロジーキャンプ場をサテライト会場として開催しました。

当日は、天候もよく、約３００名の方々にご来場いただき、森林セラピー体験や、木工体験をはじめとする、様々な森を満喫できるメニューを楽しんでいただきました。

今年は、アクティブな体験としてマウンテンバイクの試乗やブッシュクラフト体験を取り入れ、多くの方々に楽しんでいただきました。

記録者：栗栖　俊生（安芸太田町産業振興課）

開会式

▲開会式　佐々木　徹実行委員長　挨拶

森林セラピー体験

木工体験・クラフト教室

森のアロマ＆リフレクソロジー

森ヨガ

全体

■参加人数：１４００人

＜プログラムの状況＞

ステージプログラム

〇開会式

　みどりの少年団（栗谷小学校児童）開会宣言やご来賓あいさつなど

〇山の日ライブ

　市内のコーラスグループから参加者を募り山の日コーラスや、大竹を中心に活動しているバンドメンバーによる生ライブを行い、賑やかな音楽に美しい歌声が合わさり，会場が大いに盛り上がりました。

山の手入れ

■参加人数：６名

■担当グループ：

広島県森林組合連合会・産業振興課

＜プログラムの状況＞

　マロンの里交流館裏山の手入れ体験を行った。マロンの里森づくり協議会が遊歩道の整備しており，昨年度完成した。当日は晴天に恵まれ，安全に作業を行うための説明を聞いた後，参加者は汗を流しながら作業に励んでいました。

記念にどうぞ！植栽体験

■参加人数：４７名

■担当グループ：　広島県森林組合連合会・三倉岳県立自然公園協議会・産業振興課

＜プログラムの状況＞

　マロンの里裏山に山もみじの植栽体験を行い，記念プレートを設置してもらいました。この場所はマロンの里森づくり協議会が遊歩道を整備しています。その遊歩道の周辺と三倉岳休憩所付近に植栽を行いました。将来的には遊歩道を歩きながら，各ポイントで山もみじを楽しめるようになります。

初心者の為の三倉岳登山

■参加人数：４６名

■担当グループ：　大竹山の会

＜プログラムの状況＞

　三倉岳に集合し，準備体操を行い一般コースと健脚コースに分かれて登山を行いました。山に詳しい方のガイド付きとあって参加者からは大好評でした。

木製マガジンラック作成体験

■参加人数：３２名

■担当グループ：　産業振興課

＜プログラムの状況＞

釘やのりを使わないマガジンラックのキットを用意し，作成してもらいました。木製品の良さを知ってもらえる良い機会となりました。

木工クラフト体験

■参加人数：８５名

■担当グループ：　小城材木店・産業振興課

＜プログラムの状況＞

木工クラフト体験を行いました。木の枝などを使って動物模型等を作成しました。

手すき和紙体験

■参加人数：７０名

■担当グループ：大竹和紙保存会･大竹青年会議所

＜プログラムの状況＞

大竹市の伝統工芸である手すき和紙の作成を体験してもらいました。はがきサイズで作成し記念スタンプを押してもらいました。乾かすためにホットプレートを活用しました。大竹市の伝統を知ってもらう良い機会となりました。

川のいきもの観察会

■参加人数：２００名

■担当グループ：環境整備課･広島県環境保健協会

＜プログラムの状況＞

ひろしま「山の日」県民の集いに併せ，川のいきもの観察会を実施しました。通常であれば，実際に川に入ってもらい，自分たちの手と目で感じてもらっているが，来場者等の内容が分からないため，展示という形で実施しました。準備していた粗品等がなくなるほどの盛況ぶりで，他市からの来場者もあり，市の自然の PR になりました。

竹で作ろう！水てっぽう

■参加人数：１１０名
■担当グループ：　産業振興課
＜プログラムの状況＞
　竹水てっぽうのキットで作成してもらい、作った水鉄砲で的当てゲームを行いました。

ツリークライミング体験

■参加人数：５０名
■担当グループ：佐伯森林組合
＜プログラムの状況＞
　新たにツリークライミング体験を行いました。普段とは違った目線で木や森を見ることができ，子供たちは大喜びでした。

しいたけ菌打ち体験

■参加人数：５０名
■担当グループ：西日本造園・二階堂商事
＜プログラムの状況＞
　しいたけの菌打ちを体験してもらいました。同時に大竹産のしいたけの試食コーナーも設けました。大竹産のしいたけの美味しさを知ってもらう良い機会となりました。

世羅町会場　せら夢公園

全体

■参加人数：１，５００人

＜プログラムの状況＞

第 16 回ひろしま「山の日」県民の集い世羅町会場をせら夢公園で開催しました。開会式では、曽我春雄実行委員長による開会挨拶、奥田正和町長による来賓祝辞があり、せらワイナリー職員の佐々木まゆみさんによる山の日宣言が行われ、行事を開始しました。当日は快晴となり、親子連れを中心に約 1,500 人の方々にご来場いただき、約 300 人が体験活動に参加しました。会場では、「せらの里山をきれいにしよう！」「木製マガジンラックづくり体験」「しいたけ菌打ち体験」「薪づくり体験と薪ストーブ展示」「せら高原の自然を楽しもう！」の５つの森林・林業体験プログラムを行いました。体験参加者からは「貴重な体験ができて楽しかった。」という感想もあり、子どもから大人まで幅広い世代の方々に山に親しんでいただくことができました。

▲開会挨拶　曽我春雄実行委員長

▲祝辞　奥田正和町長

▲山の日宣言　佐々木まゆみさん

▲世羅町会場の様子

せらの里山をきれいにしよう！

■参加人数　6名

＜プログラムの状況＞

せら夢公園内の自然観察園の山林で、山の手入れ体験を行いました。このプログラムは参加人数が少なかったため、今後は開催内容を工夫するなどして多くの方々に参加していただきたいです。

木製マガジンラックづくり体験

■参加人数：１４０名

＜プログラムの状況＞

広島県産のスギを使ったマガジンラックづくり体験を行いました。親子連れを中心にたくさんの参加者があり、木製品の良さをみなさんに知っていただくよい機会となりました。

しいたけ菌打ち体験

■参加人数：６６名

＜プログラムの状況＞

しいたけ原木を利用して、しいたけドリルによる穴あけ、菌打ち体験を行いました。子どもから大人まで幅広い年齢層の方が参加し、「しいたけがはえてくると嬉しいし、子どもも水やりを手伝ってくれると言っている。」と喜ぶ親子もいました。

薪づくり体験と薪ストーブ展示

■参加人数：５４名

＜プログラムの状況＞

薪割り体験は斧を使って行いました。参加者は、なかなか最初は薪をうまく割ることができず、悪戦苦闘している様子でしたが、何回か割るうちに上達し、みなさん楽しそうでした。

せら高原の自然を楽しもう！

■参加人数：４３名

＜プログラムの状況＞

せら夢公園自然観察園で世羅高原の動植物の観察会を行いました。水田のチョウ「ヒョウモンモドキ」、世界最小級のトンボ「ハッチョウトンボ」、湿原を朱鷺色に彩る「トキソウ」などを観察しました。参加者は県外の方も多く、「ヒョウモンモドキに 50 数年ぶりに再会できて大変満足だった。」という感想もありました。

実行委員会（全体）

■アドバイザー

城納　一昭	元・広島県副知事　JA 広島中央会顧問
中越　信和	広島大学大学院国際協力研究科　特任教授
山崎　裕美	広島県農林水産局　森林保全課　課長
奥迫　輝昭	(公社)広島県みどり推進機構　事務局長
岡谷　義則	中国新聞社　代表取締役社長
畑矢　健治	(株)中国放送　代表取締役社長

■会長

伊藤　利彦	愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会　幹事　元・広島市収入役

■副会長

内海　康仁	光和物産株式会社　代表取締役社長
京才　昭	(一社)広島県山岳連盟　会長
瀬川　千代子	ひろしま緑づくりｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ　代表
前垣　壽男	西条・山と水の環境機構　理事長
箕田　英紀	三次市酒屋地区自治連合会会長、エコパークの森づくり副実行委員長
杢谷　正樹	㈱純正食品マルシマ　代表取締役社長
福島　偉人	株式会社有斐園　取締役会長
堀川　保幸	中国木材株式会社　代表取締役会長
八谷　文策	NPO 法人森のバイオマス研究会　監事

■委員

赤木　茂	光和物産(株)　取締役総務部長
秋山　浩三	広島県ｼｪｱﾘﾝｸﾞﾈｲﾁｬｰ協会　事務局長
斎　陽	(公社)日本山岳会広島支部　自然環境委員会副委員長
井上　年光	阿品の森サポータークラブ　事務局長
奥野　悟	(公財)オイスカ広島県支部　事務局長
小川　俊章	中国木材株式会社　総務課長
小田　里子	(一社)広島県山岳連盟　普及部　部長
副島　靖夫	広島市森林公園　園長
岸田　正明	世羅町　産業振興課
栗栖　俊生	安芸太田町　産業振興課
近藤　紘史	NPO法人西中国山地自然史研究会　代表
河野　弥生	NPO法人西中国山地自然史研究会
櫻井　充弘	(一財)もみのき森林公園協会理事長 ひろしま人と樹の会　事務局長
柴田　壮太郎	エコロジー研究会ひろしま
仙田　信吾	株式会社中国放送　常務取締役
高津　浩二	大竹市　産業部　産業振興課　課長
谷村　恭佐	(一財)中央森林公園協会　事務局長
寺内　優	株式会社中国放送　広報部長
土井　文哉	安芸高田市　産業部　農林水産課
野本　利夫	NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所　理事長
林　高正	板橋さとやま倶楽部　理事長
藤原　道伸	大崎上島町　建設課　課長
福永　やす子	(一社)広島県山岳連盟
松本　隆志	三次市産業部農政課　課長
宮岡　泰久	サポート・トレッキング・グループ　会長
山田　雅昭	(一社)広島県山岳連盟　副会長兼理事長
渡部　英美	(㈱)中国新聞企画サービス　課長
中川　英也	大竹市　産業振興課　課長
中嶋　剛二	広島県森林インストラクター連絡協議会
野島　信隆	(一社)広島県山岳連盟副会長 (公社)日本山岳会広島支部　副支部長

■監事

梅田　斉	(一財)もみのき森林公園協会　事務局長

■事務局(委員兼任)

局長　畝崎　辰登	畝崎ファーム
次長　中村　隆行	NPO 法人ひろしま NPO センター　代表理事
兼森　志郎	(公社)日本山岳会広島支部
山本　祐二	NPO 法人ひろしま NPO センター　理事

各会場実行委員会

□大崎上島町会場実行委員会

■実行委員長

高田　幸典大崎上島町　町長

■副委員長

河野　亮三大崎上島町の森づくり事業推進協議会　会長

■事務局長

藤原　通伸大崎上島町　建設課長

□東広島市会場実行委員会

■実行委員長

島　靖英　西条酒造協会　理事(白牡丹酒造)

■副委員長

淺野　敏久　広島大学大学院総合科学研究科　教授

■運営委員長

松浦　尚樹　賀茂地方森林組合　憩いの森公園施設長

■事務局長

船本　昌義　西条・山と水の環境機構　事務局

□廿日市市会場実行委員会

■実行委員長

櫻井　充弘　(一財)もみのき森林公園協会　理事長

■副委員長

井上　年光　阿品の森サポータークラブ　会長

■事務局長

梅田　斉　(一財)もみのき森林公園協会　事務局長

□広島市(広島市森林公園)会場実行委員会

■実行委員長

副島　靖夫　広島市森林公園　園長

■副委員長

冨士澤　隆　広島市森林公園　副園長

■運営委員長

見勢井　誠　もりメイト倶楽部 Hiroshima　顧問

■運営副委員長

桑原　清二　フォレストクラブ森守

■事務局長

桑田　荘一郎　広島市森林公園

□広島市(広島県緑化センター)会場実行委員会

■実行委員長

正本　大　広島県緑化センター　管理責任者

■副委員長

山根　道廣　広島県緑化センター

■運営委員長

前山　敏彦

■事務局長

行正　高成　広島県緑化センター

□三原市会場実行委員会

■実行委員長

福島　偉人　株式会社有斐園　取締役会長

■副委員長

吉川　進　三原市経済部　部長

■運営委員長
桝宗　正則　　(特非)森のお猿さん
■運営副委員長
森正　宏征　　三原市経済部農林水産課　課長
山下　三喜男　　三原市シルバー人材センター本郷支所長
■事務局長
谷村　恭佐　　(一財)中央森林公園協会　事務局長

□福山市会場実行委員会
■実行委員長
内海　康仁　　光和物産(株)　取締役社長
■副委員長
赤木　茂　　光和物産(株)　取締役総務部長
■運営委員長
繁田　健司　　光和物産株式会社
■事務局長
赤木　茂　　光和物産(株)　取締役総務部長

□三次市会場実行委員会
■実行委員長
箕田　英紀　　三次市酒屋地区自治連合会　会長
■事務局長
松本　隆志　　三次市農政課　課長

□呉市会場実行委員会
■実行委員長
堀川　保幸　　中国木材(株)　代表取締役会長
■副委員長
佐藤　一教　　三菱日立パワーシステムズ・エコークラブグリーン委員会理事
■運営委員長
宮岡　泰久　　サポート・トレッキング・グループ　会長
■事務局長
小川　俊章　　中国木材株式会社　総務課長

□北広島町八幡高原会場実行委員会
■実行委員長
近藤　紘史　　(特非)西中国山地自然史研究会　理事長
■事務局長
河野　弥生　　(特非)西中国山地自然史研究会

□安芸高田市会場実行委員会
■実行委員長
金川　豊久　　(一社)安芸高田市観光協会　理事長
■事務局長
榎本　幸男　　(一社)安芸高田市観光協会　事務局長

□安芸太田町会場実行委員会
■実行委員長
佐々木　徹　　太田川森林組合　代表理事組合長
■副委員長
大倉　啓司　　安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会
■事務局長
瀬川　善博安芸太田町産業振興課　課長

□大竹市会場実行委員会
■実行委員長
小城　林勲　　小城材木店　会長
■副委員長
田中　弘明　　栗谷自治会連合会　会長
■事務局長
高津　浩二　　大竹市　産業振興課　課長

□世羅町会場実行委員会
■実行委員長
梶谷　哲生　　世羅郡森林組合　代表理事組合長
■副委員長
坂東　辰男　　世羅町商工会　会長
■事務局長
升行　真路世羅町　産業振興課　課長

※以上、2017 年 6 月 4 日時点での委員及び所属等を記載しております。
たくさんの方々に協力していただき行事を行なうことができました。心より感謝申し上げます。

ひろしま「山の日」県民の集いの歩み

１．「山の日」のきっかけ

森林ボランティアに関わる人たちが全国から集まり、第７回森林と市民を結ぶ全国の集い（時期：２００２年２月９日～１１日　開催場所：広島県東広島市とその周辺　主催：第７回森林と市民を結ぶ県民の集い実行委員会他　総参加者：２，２９４人）が開催されました。その初日のシンポジュウムにおいて、パネリストの１人から「山の日」をつくろうとの提案がされました。

提案を受け、分科会等での議論等を経て、集いの締めくくりに、私たちからのメッセージとし「６月の第一日曜日を山の日として、その日は山に関わろう」というメッセージを発信しました。

２．ひろしま「山の日」県民の集いの積み重ね

山の大切さをできるだけ多くの人たちに知っていただきたい。そのきっかけづくりとしてひろしま「山の日」県民の集いを広島県内各地の会場で開催しています。第１回～４回までは、広島県内１ヶ所の会場で開催していました。第５回以降、・メイン会場と・サテライト会場方式として県内数ヶ所で同時開催、あわせて１万人が参加する行事になっています。

回数	日時	場所	参加者（人）	主催
1	2002 年 6 月 1 日（土） ・2 日（日）	東広島市	1,500	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
2	2003 年 6 月 7 日（土） ・8 日（日）	廿日市市	3,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
3	2004 年 6 月 5 日（土） ・6 日（日）	広島市	2,400	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
4	2005 年 10 月 15 日(土) ・16 日(日)	三原市	5,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、平成 17 年度広島県植樹祭実行委員会
5	2006 年 10 月 22 日（日） ※全国育樹祭と連携	○メイン会場：庄原市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市	11,700	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社
6	2007 年 10 月 20 日（土） ・21 日(日)	○メイン会場：福山市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市	10,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社
7	2008 年 10 月 18 日（土） ・19 日（日）	○メイン会場：三次市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市、三原市、庄原市、福山市	10,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社

8	2009年6月6日（土） ・7日（日）	○メイン会場：呉市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市、福山市、三次市	7,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
9	2010年6月5日（土） ・6日（日）	○メイン会場：北広島町 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市、 福山市、三次市、呉市	8,600	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
１０	2011年6月4日（土） ・5日（日） **※第10回記念行事**	広島市（記念講演会） 東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市、 福山市、三次市、呉市、北広島町	11,600	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
１１	2012年6月2日（土） ・3日（日）	○メイン会場：尾道市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市、 福山市、三次市、呉市、北広島町	7,000 ※朝、雨	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
１２	2013年6月1日（土） ・2日	○メイン会場：安芸高田市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市 福山市、三次市、呉市、北広島町、尾道市	3,200 ※終日、雨天	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
１３	2014年5月31日（土） ・6月1日（日）	○メイン会場：安芸太田町 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市 福山市、三次市、呉市、北広島町、尾道市、安芸高田市	9,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
１４	2015年6月6日（土） ・6月7日（日）	○メイン会場：大竹市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市 福山市、三次市（2）、呉市、北広島町、尾道市、安芸高田市、安芸太田町	10,540	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送

１５	2016 年 6 月 4 日（土） ・6 月 5 日（日）	○メイン会場：世羅町 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、庄原市、福山市、三次市、呉市、北広島町、尾道市、安芸高田市、安芸太田町、大竹市	7,123	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
１６	2017 年 6 月 3 日（土） ・6 月 4 日（日）	○メイン会場： 大崎上島町 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市（2）、三原市、福山市、三次市、呉市、北広島町、尾道市、安芸高田市、安芸太田町、大竹市、世羅町	10,862	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

※但し、参加者は 10 人台で計数しています。

第 16 回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

■発行日　2017 年 9 月 1 日

■発行・編集　ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会

■監修　中越　信和（広島大学名誉教授）

■事務局　〒730-0013 広島市中区八丁堀３－１

TEL:082-511-3180　FAX:082-511-3179

e-mail:info@yamanohi.com

山の日
ひろしま【山の日】県民の集い

●山の日ロゴ：山と人との調和をモチーフに
デザイン開発。
基本カラーはエコグリーン。
デザインは木原実行さん。

LOVE GREEN
RCCラブ・グリーンプロジェクト

「緑の募金」助成事業

この行事は、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して開催しています。

ひろしまの森づくりキャラクター
モーリー